別　紙

利用実験スケジュール

□ 実験方法

1）実験対象者は、スタート地点～集合場所、集合場所～ゴール地点について、***実際に利用する経路を自由行動でチェック***を行います。

2）チェックする際は、いくつかのチャックポイントを設け、チェックポイントの***施設や経路で気づいた点***や***案内情報などの情報提供に関して気づいた点***を確認します。

3）点検終了後、班毎に集まり実験内容の意見交換をしながら、課題図を作成します。

4）実験は２班に分かれて国内線、国際線の経路について実施します。班編成は以下のとおり。

・班編成

	1 班	2 班
実験対象者	①肢体不自由者（車椅子）＋ヘルパー ②視覚障害者＋ヘルパー ③聴覚・言語障害者＋手話通訳者 ④知的障害者の親 ⑤高齢者 ⑥～⑧外国人（韓国語、中国語、英語） ⑨日本人 （計　９名＋ヘルパー）	①肢体不自由者（車椅子）＋ヘルパー ②視覚障害者＋ヘルパー ③聴覚・言語障害者＋手話通訳者 ④知的障害者の親 ⑤高齢者 ⑥～⑧外国人（韓国語、中国語、英語） ⑨日本人 （計　９名＋ヘルパー）

□ 実験スケジュール

概要	時間	内容		場所
開会及び説明	9:30	１．開会挨拶 ２．本日の予定の説明 ３．ユニバーサルデザインについて ４．実験の方法、進め方の説明		仙台空港事務所会議室
実験	10:20	【1 班】経路の点検（国内線） ・ 身障者用駐車場から出発カウンターまで ・ 出発ロビーから搭乗口まで(※) ・ 到着コンコースから総合案内所まで (※) ・ 総合案内所から身障者用駐車場まで	【2 班】経路の点検（国際線） ・ 国際線観光バス乗降場から出発カウンターまで ・ 出発ロビーから搭乗口まで(※) ・ 到着コンコースから総合案内所まで (※) ・ 総合案内所から国際線観光バス乗降場まで	ビル内及び移動経路
休憩	12:30	昼食及び休憩		仙台空港ビル会議室
意見聴取	13:30	１．ターミナルビル内及び駐車場からの移動経路における問題点抽出・課題図作成・グループ討議 ２．各班の発表 ３．質疑応答		同上
まとめ	15:30	１．実証実験のまとめ ２．閉会挨拶		同上

（※）セキュリティー内が含まれますので、その範囲での取材はご遠慮願います。